

「2年生の意識調査」～引き続き「数学アンケート」～

北宇治中学校分會 田中正浩

はじめに

北宇治中に転勤した昨年は、1年生を担当し、とりあえず最初の授業でアンケートをとった。その結果をまとめたところ、以下のような結果が出た。(この結果についての分析は昨年度のレポートを参照)

| ①数学は好き？ | | ②数学は得意？ | | ③得意の分野は？ | | 割合 | ④苦手な分野は？ | | 割合 |
|---------|-----|---------|-----|----------|-----|-------|----------|-----|-------|
| ア大好き | 4 | アとても得意 | 5 | ア計算 | 71 | 34.8% | ア計算 | 17 | 8.3% |
| イ好き | 30 | イ得意 | 23 | イ図形 | 59 | 28.9% | イ図形 | 19 | 9.3% |
| ウ普通 | 70 | ウ普通 | 78 | ウ文章題 | 10 | 4.9% | ウ文章題 | 111 | 54.4% |
| エ嫌い | 65 | エ苦手 | 67 | エ比例・反比例 | 6 | 2.9% | エ比例・反比例 | 44 | 21.6% |
| オ大嫌い | 35 | オ大の苦手 | 31 | オなし | 58 | 28.4% | オなし | 13 | 6.4% |
| 合計 | 204 | 合計 | 204 | 合計 | 204 | | 合計 | 204 | |

中でも、数学が「好き」と答えたのが6人に1人という状況だったのには考えさせられた。また、苦手分野では「文章題」が圧倒的に多く、数学が、「生きた学力」となっていない現状が浮き彫りになった。

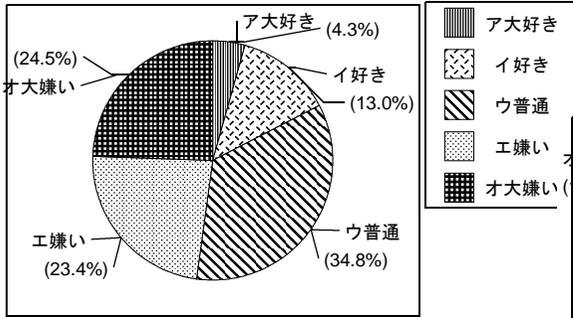
こうした状況をふまえ、できるだけ数学が好きな生徒を増やそうと、昨年1年間実践してきたつもりだが、果たして、生徒の意識はどう変わったのか、性懲りもなく、今年もアンケートをとってみた。

1 アンケートの内容および結果

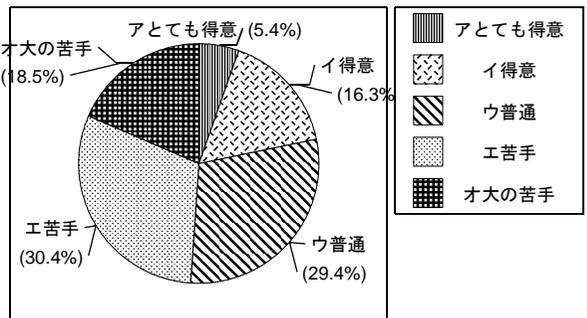
内容は昨年度と同じ。結果は下の一覧表の通り。

| ①数学は好き？ | | ②数学は得意？ | | ③得意の分野は？ | | 割合 | ④苦手な分野は？ | | 割合 |
|---------|-----|---------|-----|----------|-----|------|----------|-----|-------|
| ア大好き | 8 | アとても得 | 10 | ア計算 | 67 | 36.4 | ア計算 | 24 | 13.0% |
| イ好き | 24 | イ得意 | 30 | イ図形 | 56 | 30.4 | イ図形 | 20 | 10.9% |
| ウ普通 | 64 | ウ普通 | 54 | ウ文章題 | 5 | 2.7 | ウ文章題 | 93 | 50.5% |
| エ嫌い | 43 | エ苦手 | 56 | エ比例・反比例 | 8 | 4.3 | エ比例・反比例 | 35 | 19.0% |
| オ大嫌い | 45 | オ大の苦手 | 34 | オなし | 48 | 26.1 | オなし | 12 | 6.5% |
| 合計 | 184 | 合計 | 184 | 合計 | 184 | | 合計 | 184 | |

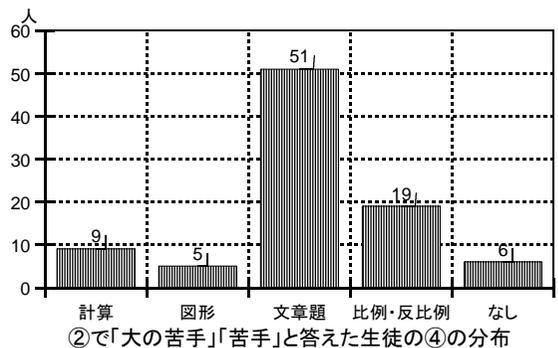
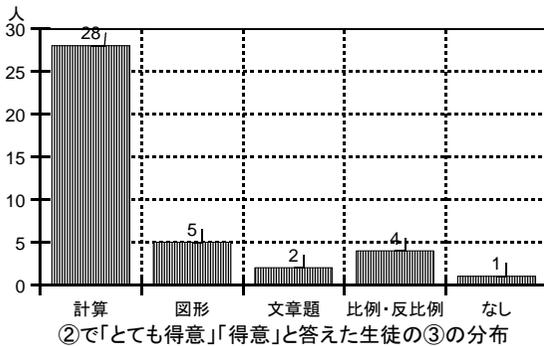
数学は好きですか



数学は得意ですか



- (1) 数学が好きか？という設問に対しては、昨年と比較して、「大好き」「好き」の合計はほとんど変わっていない。(昨年16.7%→今年17.3%)
- (2) 一方、数学が得意か？という設問に対しては、「とても得意」「得意」を合わせて昨年は13.7%だったのに対し、今年は17.3%と3.6%増加した。
- (3) 「大好き」「大嫌い」の割合がともに増加した。同様に、「とても得意」「大の苦手」の割合もともに増加した。二極分化が進んでいる。



- (4) 分野別で見ると、昨年度の傾向がさらに進み、「計算は得意だが、それ以外はちょっとだめ」という姿が浮かぶ。

2 感想的まとめ

数学嫌いがもっと進むのではないかと案じていたが、予想外の結果にホッとしている。しかし、二極分化の傾向が見られることが気がかりだ。2年生ではこの傾向がさらに進行すると思われる。これが行き着く先は「一握りのエリートと、もの言わぬ多くの労働者」なのだろうか？

授業の工夫、教材の工夫など、教師の力量で改善する部分もあるだろうが、忙しさのあまりついつい今までの実践の踏襲に陥っている。今後も研修を重ねる必要がある。